

読書旬間が始まります！

松本 雅史

6月も早くも第2週に入りました。土曜日には青少対まつりがありました。とても楽しかったですね！そして、今週からサッカーの祭典「ワールドカップ・北米大会」が始まります。日本はグループFで、オランダ、チュニジア、スウェーデンと戦います。日本の初戦は、ちょうど一週間後、来週の月曜日です。日本の世界ランキングは18位です。この日戦うオランダは7位の超強豪国です。相手にとって不足なし！と、ぜひ存分の活躍をしてもらいたいですね。



さて、今日から学校として水泳指導が始まります。プールはとても楽しいですが、一つ間違えると大事故にもつながりかねないです。一人一人が、ルールを守って安全第一で楽しいプールにしていきましょう。特に、勝手に飛び込んだり、ふざけたりすることは絶対にやめましょう。

また、今週あたりから東京も梅雨に入りそうですね。この時期、日本の上空にずっと雨雲が居座って、曇りや雨の日が続きます。この初夏の長雨のことを「梅雨」と呼びます。

梅雨に入って雨になったり、やっと晴れたかと思ったら暑すぎて外で遊べなかったりと、この時期は「内遊び」も増えます。それに合わせてということでしょうか、



今日から春の読書旬間が始まります。読書旬間とは、いつも以上に意識して読書に親しもうという期間のことです。八小の図書館は、小平市の19ある小学校のどの学校の図書館と比べても、ぴかーです。本の冊数も、種類も、読む環境も本当に素晴らしいです。ぜひ、この読書旬間に1冊でも多く本に親しんで、みんなに本好きになってもらえたら嬉しいです。

今朝は本についてのお話をひとつしたいと思います。15年前になりましたが、東日本大震災のときのことです。この大地震で、東北地方の町の本屋さんのほとんどがぐちゃぐちゃになってしまったのです。そんな中、宮城県のある本屋さんが、地震からわずか11日後に営業を再開したのです。お店を開けたものの「こんな時に本など売れないだろう」とたいして期待していませんでした。しかし、そこで目にしたのは驚くべき光景でした。開店前から長蛇の列が連なり、あらゆるジャンルの本が買い求められていきました。

それは何もこの本屋さんに限った風景ではありませんでした。大変な中をのりこえて、お店を再開した多くの本屋さんで、同じような人々の姿が目撃されています。本当に大変な時でした。みんなその日を生きるのに必死でした。それでも災害に遭った方々は、並んででも本を求めたのでした。大変な時だからこそ、心の栄養を求めて、人間らしく心豊かに生きたいと願ったのだと思います。

皆さんと一緒に生活していて、小平第八小学校のこどもは、本当に本が好きなのだと感じています。図書室の本たちは皆に読んでもらえるのを待っています。この読書旬間に、ぜひ様々な種類の本に挑戦して、読書を通してさらに心と頭を豊かにしていってほしいと思います。